



はじめに

第9回「あの森を訪ねて」は川崎市西部にある2ヶ所の美林50選地と地域の面白い施設や歴史等を訪ねる。

コースは、東急田園都市線溝の口駅（又はJR南武線武蔵溝の口駅）を出発点に、一大山街道ふるさと館・・・(バス)・・・県立東高根森林公園・・・(バス)・・・生田緑地——小田急線向ヶ丘遊園駅 とした。

溝の口駅界限（大山街道と2ヶ領用水）

ここ溝の口は、赤坂から大山に至る大山街道（矢倉沢往還と重複）の宿駅があった所。大山参詣や江戸への物資の輸送路として旅籠や商家が軒を連ねて賑わった。駅から歩いて10分弱の街道沿いに街道の歴史などの展示を行っている「大山街道ふるさと館」があるのでぜひ寄って見たい。



街道を横切る水路がある。この水路が有名な2ヶ領用水と呼ばれる県内最古の農業用水路。

稲毛領と川崎領にまたがる用水なので、この名で呼ばれている。

川崎市の芯のような用水路で、今の市域はこの用水路を遡るように隣接の市町村と合併してできたとのこと。なるほど、そう言われれば川崎市は細長い。

1611年、14年の歳月をかけて多摩川から取水する約32kmの水路が造られた。その灌漑面積は2千haにおよんだとのこと。

水を公平に分配するための「円筒分水」施設が有名で、ここから800m程上流の所にある。



溝の口駅南口から市営バスで東高根森林公園に向かう。

約10分で「森林公園前」のバス停。

県立東高根森林公園

バス停では次に向かう生田緑地を通る「向ヶ丘公園駅行」のバス時間を確認しておくこと。1時間に2本位と少ないので注意。

公園内散策は、昼食時間を入れたとしても1.5時間～2時間も見込めば十分である。

森林公園の面積は11.6ha。

目指すシラカシ林は、そのうち2.8haで県の天然記念物に指定されている。入口のパークセンターでパンフと予備知識を仕入れて探訪に出発しよう。

ケヤキ広場を過ぎ、美林50選地の標柱を見ながら、かつての水田跡に造られた湿生植物園や斜面のシラカシ林を眺めながら快適な谷筋の木道に行く。途中のシラカシ林の斜面に造られた木の階段散策路を上ると古代芝生広場。



この階段散策路から見るシラカシ林は、かつて県内に広く分布していた往時の森林もかくやと思わせる風景である。樹齢150年を超える木もあり見上げる高さの木が空を覆う。林相はシラカシを高木層として、低木層にはシロダモ、ネズミモチ、ヤブツバキ、アオキなど、そして、林床にはジャノヒゲ、ヤブコウジ、ヤブランなどの草本類が生えている。



上部台地に広がる1.3haの芝生広場の下には60数軒の弥生人の住居跡がある。

ここから下の谷筋の水田に通い稲をつくっていた。材の堅いシラカシの木は、鋤や鍬の柄となり、建物づくりの材料や燃料などに利用されたのだろう。



バスの時間を見越しながら、古代植物園や見晴台等を巡る散策路を下り入口に戻る。

生田緑地

2つ目の美林を訪ねるため先のバス停から向ヶ丘遊園駅行きのバスに乗り「生田緑地入口」で降りる。約15分で着く。

この緑地には日本民家園、科学

館、岡本太郎美術館等の施設のほか森林内散策路が整備されている。

森林以外のおすすめは日本民家園。江戸時代の東日本を中心に、一昔前の名主や網元の家、合掌造りの大きな家などその地方の気候風土と生活を反映した様々な家が20数軒移築されている。現代の軽々とした家とは対照的に長い歴史を積みこませて造られたドッシリしたたずまいは壮観ですらある。

森林は、まず奥の池周辺のメタセコイアの林を見たい。人工林ではあるが100本近くの本木が天を突き刺すように林立する様は圧巻である。これだけまとまって植栽されたメタセコイア林はめずらしい。アケボノ杉ともよばれる落葉針葉樹で、化石でしかその存在が知られていなかったのが1941年中国で発見され、生きている化石として話題となった。



池の先、右手斜面に造られた200段ほどの階段を上り尾根道に出て枳形山山頂を目指す。

そこからは緩い尾根道。コナラやクスギ、シラカシ、イヌシデ、サクラ等の森となる。里山の林である。爽快な気分でしばらく歩く



と突然山門と展望台のある広場に出る。標高84mの枳形山の山頂広場。



枳形城

ここ枳形山は、多摩丘陵が多摩川に接する所にあり、稲毛荘の庄司であった稲毛三郎重成が鎌倉時代に築いた城があった所。

エレベーターで展望台に上ると森の先は都心へと続くビルや住宅でびっしりと埋めつくされているのが見える。城に攻めくる現代の兵馬の波のようである。時折遠くから聞こえてくる音は、攻め入る軍兵の鬨の声だろうか。

迫りくる市街地拡大の攻撃を撃退し、落城することなく永久に緑の城として残しておかなければならない美林であると思わずにはいられない。



階段の続く坂を下り、飯室広場を横切り、長者穴横穴墓群を見て北口にでる。広い道路に出て、ふたたび2ヶ領用水を稲生橋で渡ると小田急線向ヶ丘遊園駅はすぐ目の前である。

(2015.5 瀧澤)